

全国学力・学習状況調査 蒲郡市の児童生徒の状況

1 調査実施日 平成31年4月18日（木）

2 教科の状況（全国の平均正答率と比較して）

☆小学校6年生の状況

教科	分 析
国語	下回っている ・インタビューの内容を条件に合わせて30字以上60字以内にまとめて書く（記述式）問題は、ほぼ全国平均並みに解答できた。 ・同音異義語の漢字の誤答が目立った。「公衆電話にかんしんをもつ」「調査のたいしょう」を正しく「関心」「対象」と解答する問題について、全国平均値を大きく下回った。 ・公衆電話の必要性を調べた結果が記された複数の文章から分かったことを取り上げ、報告文にふさわしい表現で記述する問題の正答率が全国・本市ともに低かった。目的や意図に応じ、自分がそう考える理由を明確にし、まとめて書く力に課題が見えた。
算数	ほとんど同じである ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題では、全国平均値を上回った。 ・洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、$6 + 0.5 \times 2$を計算する問題では、全国平均値を大きく下回った。 ・数式にどんな工夫をすれば、計算しやすくなるかを考え、法則性を「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書く記述問題では、全国・本市ともに正答率が振るわなかった。

☆中学校3年生の状況

教科	分 析
国語	ほとんど同じである ・「話すこと・聞くこと」と「言語文化と特質」の領域において全国平均値をやや上回った。他の設問はほぼ全国平均値と同等の結果であった。 ・「インターネット」のことを「ネット」と後の一部を省略した表現についての説明として適切なものを選ぶ問題では、全国平均値を大きく上回った。 ・情報読解力を問う「架空の中学生新聞」の内容について、文章全体から適切なものを選択する問題では、全国平均値を下回った。文章全体からきちんと情報を捉えることが不十分であることがうかがえた。 ・新聞に投稿するとの場面設定で、紙面に記された送信先情報を読み取り、郵送用の封筒に住所や宛名、敬称の「御中」などが適切な配列や字の大きさに注意して書けるかをみた問題の正答率は全国・本市ともに振るわなかった。

数学	やや上回っている ・全体として全国平均値をやや上回った。 ・2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める問題では、全国平均値を大きく上回った。 ・本体価格や年間の電気代が異なる冷蔵庫にかかる費用を比較する問題では、費用の変化を表す一次関数のグラフを読み取らせたが、全国・本市ともに低い正答率であった。 ・四角形ABCDがどのような四角形であれば、$AF=CE$になるかを説明する問題では、全国平均値を下回る結果であり、問題読解力・記述力に課題が見られた。
英語	ほとんど同じである ・「読むこと」「書くこと」の領域において全国の平均値を上回った。「聞くこと」においてもほぼ全国並であり、全体として全国平均値をやや上回る結果であった。 ・3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く問題において、全国の平均値を大きく上回った。同じく否定文を正確に書く問題についても全国平均値を上回り、短答式の問題がよくできた。 ・「話す」の全国正答率は、4領域の中で一番低い結果であった。別の二人の会話に加わり、即興のやりとりに対応できなかったり、「書く」で文法の誤りが多かったりするなど、知識として身につけた文法や単語を授業で使う活動が不足していることの表れといえる。文章を読み、考えたことについて意見を述べる授業の工夫など、4技能を組み合わせ、生徒自らが英語を使う活動を重視していくことが必要であるといえる。

3 学習・生活習慣等の状況

全国と比較して割合の高いものと低いものについて代表的なものを紹介します。

○小学校6年生の状況

＜全国と比較してよい傾向がみられるもの＞

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をする。
- (3) 先生は分かるまで教えてくれる。
- (4) 学校のきまりを守っている。
- (5) 地域の行事に参加している。
- (6) 外国の人と友達になったり、外国についてもっと知りたい、知ってもらいたいと思っている。

＜全国と比較して気になる傾向がみられるもの＞

- (1) 国語の勉強が好き、よく分かったと答えた子が少ない。
- (2) 平日、休日ともに家庭学習の時間が少ない。
- (3) 平日、休日ともに読書の時間が少ない。
- (4) 「自分で計画を立てて勉強する」「家で予習や復習をする」と答える児童が少ない。

○中学校3年生の状況

＜全国と比較してよい傾向がみられるもの＞

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 地域の行事に参加している。
- (3) 部活動に参加している。
- (4) 学級みんなで話し合って決めたことなどに取り組み、うれしかったことがある。

＜全国と比較して気になる傾向がみられるもの＞

- (1) 将来の夢や目標を持っている子が少ない。
- (2) 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する子が少ない。
- (3) 1日の読書量が全体的に少ない。

4 調査結果をうけて

蒲郡市教育委員会としては、調査結果をさらに分析し、児童生徒の学力を維持、向上させるための具体的な指導法についてまとめ、各学校に示していきます。各学校もまた、学習状況についても改善に向けた取り組みを考え、実施していきます。

5 留意点

この調査で測定できた力は、学力の一部です。各家庭では、お子さんの得意な内容、不得意な部分を知り、今後の学習に生かしていけるよう励ましをお願い致します。